

春休み、親子で一緒にお手伝い フードバンクでボランティア

セブン&アイ・フードシステムズ

2017/4/21

セブン&アイ HLDGS.

CSRアクション

セブン&アイ・フードシステムズでは、定期的に社員がフードバンク（セカンドハーベスト・ジャパン様）でボランティア活動を実施しています。このたび、春休みの時期に合わせて、従業員のお子様（12歳以上）にもボランティアを体験していただき、炊き出し用の野菜の下ごしらえと、支援を必要とする家庭への食材のパッケージ作業のお手伝いを実施しました。参加者には、経済的困窮により十分な食事をとれない状況にある人が、日本にも大勢いることを知るよい機会となりました。



デニーズ吉祥寺北町店
店長 塩野谷浩介（右）
娘の涼葉さん（左）

フードバンクとは？

フードバンクでは、食品製造メーカーや農家、個人などから、まだ充分食べられるにも関わらず、さまざまな理由で廃棄される運命にある食品を引き取り、それらを児童養護施設のこども達やDV被害者のシェルター、さらに路上生活を強いられている人たちや困窮世帯の方の元へ届ける活動を行っています。セカンドハーベスト・ジャパンは日本で初めてのフードバンクです。



専用キッチンで、農家などから届いた規格外の野菜などを下ごしらえ



お食事の提供の様子



十分な食事をとれない状況にある個人・家族に、宅急便で送る食材を30個分パッケージ

関連情報

セカンドハーベスト・ジャパン <https://www.2hj.org/>